＊学　校　だ　よ　り＊

桜井谷東

令和７年(2025 年)11 月１日
《第９号》
全児童数 1197 名（11/1 現在）
豊中市立桜井谷東小学校
校　長　　藤原　二郎

２学期も残すところ２か月となりました！

１１月、「霜月（しもつき）」となりました。つい先日まで「夏日」もありましたが、あの「記録的」とも言われた猛暑が嘘だったかのように朝晩はとても涼しくなり、すごしやすい季節となりました。日本にある四季の中でも秋は、暑くもなく寒くもなく、とても過ごしやすく穏やかな気候なので、いろいろなことに集中できると言われています。秋に頑張り努力したことが、冬を越し春に開花するとも言われます。早いもので、２学期も残すところ２か月となりました。子どもたちには、一日一日を大切にして、充実した学校生活を過ごせるよう頑張って欲しいと思います。

また、今月も複数の学年が秋の校外学習に行きます。子どもたちは、さまざまな人やできごとに出会うとともに公共の場でのマナーの大切さを実感するなど普段の学校生活では学べない経験を積んでまいります。お弁当の用意等、ご協力をお願いいたします。

「秋の日はつるべ落とし」との表現もあるように、いつの間にか日が暮れるのも早くなりました。子どもたちの様子をみていますと、朝晩と日中の気温差が大きいからか、発熱や頭痛、風邪症状など体調を崩す児童も少しずつ増えてきているようです。

ご家庭では、子どもたちの体調管理を引き続き宜しくお願いいたします。

○「第 48 回運動会」について

10 月●日（土）の運動会には、たくさんの保護者の皆さまがご来場くださいました。子どもたちへの温かい声援をいただき有難うございました。途中、あいにくの空模様となり、少雨の時間も有りましたが、最後の種目の６年生の団体演技の頃には青空も広がり、予定通りのプログラムで実施することができました。

さて、子どもたちがつくった今年のスローガンには、「自分らしく全力で！！」の文言を掲げてくれました。運動会はその練習期間も含めて、運動能力を高めることと合わせて、「全力を出し切る」「精一杯取り組む」「仲間と協力する」などの力を育む学習の機会となります。開会式でも「全力で頑張る姿が何よりも素晴らしく、観る人に感動を与えます。全力で頑張ることが、充実感や達成感、楽しさ、自分自身の成長に繋がります。」という話をしましたが、各学年とも全力で力強く、楽しく美しい演技と精一杯の走りを見せてくれました。１年生から６年生まで、どの学年の演技・競技も、一人ひとりが全力を出しきり、力を合わせることができ、子どもたちの大きな成長が感じられました。おかげさまで、運動会練習期間中も含めたご家庭のご理解とご協力のもと、子どもたちにとって思い出に残る運動会になりました。

今年も、運動会当日の来校者の受付や誘導等におきまして、PTA の係の皆さまにご協力をいただき、当日の安全で円滑な運営につながりました。有難うございました。

○「人権参観・懇談」について

１１月●日（●）に「人権参観・懇談」を予定しています。今年度から授業参観の機会を年間３回に増やしたことから、昨年度は５月の土曜日に実施した「人権参観・懇談」をこの時期に実施します。ちょうど、毎年 12 月４日から 12 月 10 日の１週間は、全国的にも「人権週間」とされており、保護者の方々とも人権を尊重し合うことの大切さについて、一緒に考える機会になればと思っています。

本校では「学校経営の重点」の一つに、「人権教育を基盤として、自己肯定感・自己有用感を育み、つながる力をつける。」ことを掲げ、「いかなる差別も許さない民主的な人間の育成」「違いを認めあい、共に生きる共感的な集団の育成」「自由で多様な価値観や考えを育む人権教育・道徳教育の充実」を進めることとしています。そして、日々の学校生活や学習を通して、子どもたち一人ひとりが自己肯定感とともに相手を思いやる気持ちを持ち、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことができるようになることが大事だと考えています。

「人権参観・懇談」の詳細については、後日あらためてご案内いたしますが、授業後の懇談会も含めて、保護者の皆さま多数のご参加をいただければと願っております。

○「読書活動の充実」について

秋はいろいろなことに例えられますが、「読書の秋」もそのひとつです。秋の夜長に静かに読書をすることからの表現のようです。いずれにせよ、秋の静かな雰囲気は読書に集中するのにぴったりです。

自分で文字を追い、新しい知識を得たり考えたりする読書は、子どもたちにはとても大切です。読書によって子どもたちは広い世界を知り、豊かな人生を歩む力を育みます。また、読解力や語彙力の向上など学力にも繋がります。学校では、子どもたちが読書に親しみ、読書の幅を広げるため、読書の機会の拡充や図書の紹介、読書経験の共有等の取組を行うことで、様々な図書に触れる機会の充実に努めています。もちろん、文学作品を読むことに限らず、自然科学・社会科学関係の本や新聞・雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する本を読んだりすることなども含めています。本校では2名の学校司書が学校図書館を運営し、図書の時間を含めて、子どもたちの読書活動を支えています。

また、本校では、「ひがしえほんの会」の皆さん（在校生保護者や卒業生保護者のメンバーの方）が定期的に朝の時間に各教室で絵本の読み聞かせをしてくださっています。子どもたちは静かにお話の中に引き込まれ、本の良さや楽しさに触れる機会となっています。

読書の秋、ご家庭でもお子様と一緒に本を読んだり、読んでいる本の内容を話題にしたりするなど如何でしょうか。

※毎年、PTA より本校の学校図書館に多数の児童用図書を寄贈いただいています。あらためてお礼申し上げます。

（QR コード）
ホームページもご覧ください。

○9 月下旬より、体育館の空調設備を稼働させています。計 10 台の冷暖房機が体育館側壁の上部に有り、送風機により館内に循環させる仕組みです。稼働には都市ガスを使用していますが、災害時には体育館裏に設置のプロパンガスに切り替えができ、電気や都市ガスが止まっても、一定期間は稼働可能なシステムとなっています。